

第1回広域連携検討会議

日 時 令和6年11月21日（木）18:30～
場 所 深川市役所3階大会議室

1. 開 会（進行：沼田町）

北空知圏振興協議会教育部会 沼田町教育委員会教育長 三 浦 剛

2. 報告・協議事項

（1）各市町協議会からの報告（1市5町）

（2）北空知部活動の現状について（報告：沼田町）

※別冊資料「広域連携による部活動地域移行」

（3）北空知広域連携による部活動地域移行の推進について

■地域クラブ活動体制整備に向けた実証事業

北空知中学生マルチスポーツ体験イベント「ミライの部活動体験会」

（報告：秩父別町・雨竜町）

日 時 令和6年10月26日（土）14:30～17:30 **実施済**

場 所 沼田学園沼田中学校校体育館

※別紙報告書のとおり

■広域連携による地域移行の勉強会・理解促進

部活動の地域移行 広域連携セミナー

（説明：妹背牛町・北竜町）

日 時 令和6年11月24日（日）14:00～16:30

場 所 北竜町公民館

※別紙チラシのとおり

（4）北空知広域モデルに向けた調査について（説明：深川市）

R6～7「北空知広域モデル」を調査し、具体的方針や各論について検討

※調査事項（例）は別紙のとおり

3. 意見交換（進行：沼田町）

4. その他

今後のスケジュール

第2回広域連携検討会議 1月下旬

第3回広域連携検討会議 3月上中旬

5. 閉 会

北空知市町部活動地域移行推進協議会 広域連携検討会議 開催要項
(通称：北空知広域連携検討会議)

1 目的

本会議は、北空知1市5町による広域連携によって、部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた必要な事項等を検討することを目的として開催する。

2 情報交換や意見を求める事項

- (1) 北空知各市町のスポーツ・文化環境について
- (2) 部活動の地域移行について
- (3) 北空知における広域連携について
- (4) 実証事業の内容や方法について
- (5) 各市町の人材活用や民間企業等との連携について
- (6) 今後の自走化等の方法について
- (7) その他、必要な事項に関する事

3 出席対象者

北空知各市町の部活動地域移行推進協議会委員の中から、次に掲げる者を対象者とし、協議案件に応じて他の委員を出席させることができる。

- (1) 会長
- (2) 副会長

4 アドバイザー

本会議には、部活動の地域移行に向けた知見を有する者を、アドバイザーとして招聘することができる。

5 会議

- (1) 会議は、北空知圏振興協議会教育部会が招集及び主催する。
- (2) 教育部会は、必要があると認めるときは、会議に対象者以外の者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

6 庶務

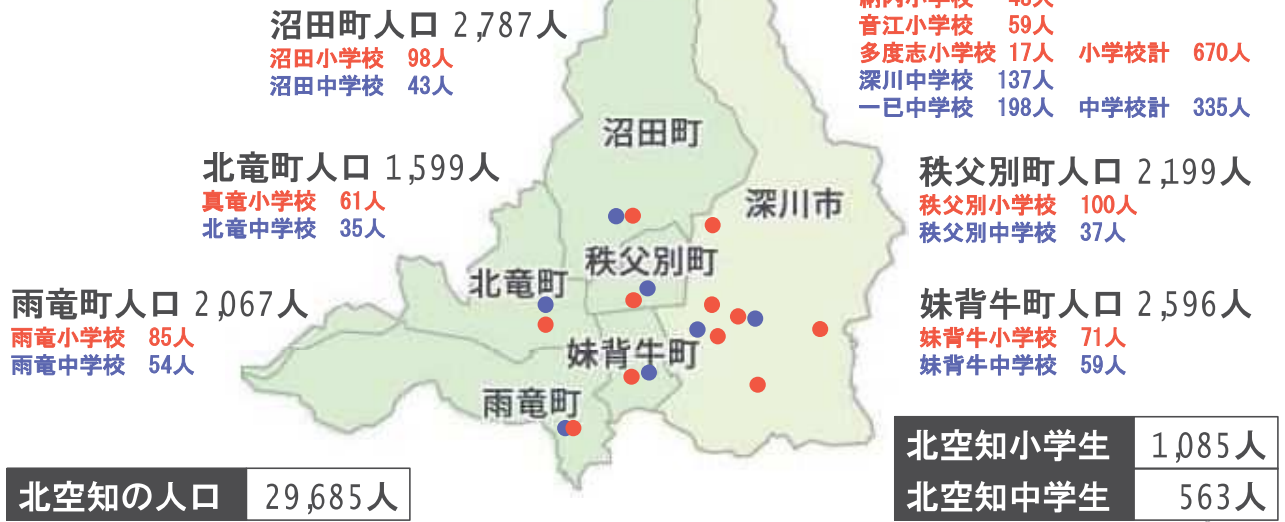
本会議の庶務は、北空知圏振興協議会教育部会において処理する。

7 補則

この要項に定めるもののほか、必要な事項は、北空知圏振興協議会教育部会が別に定める。

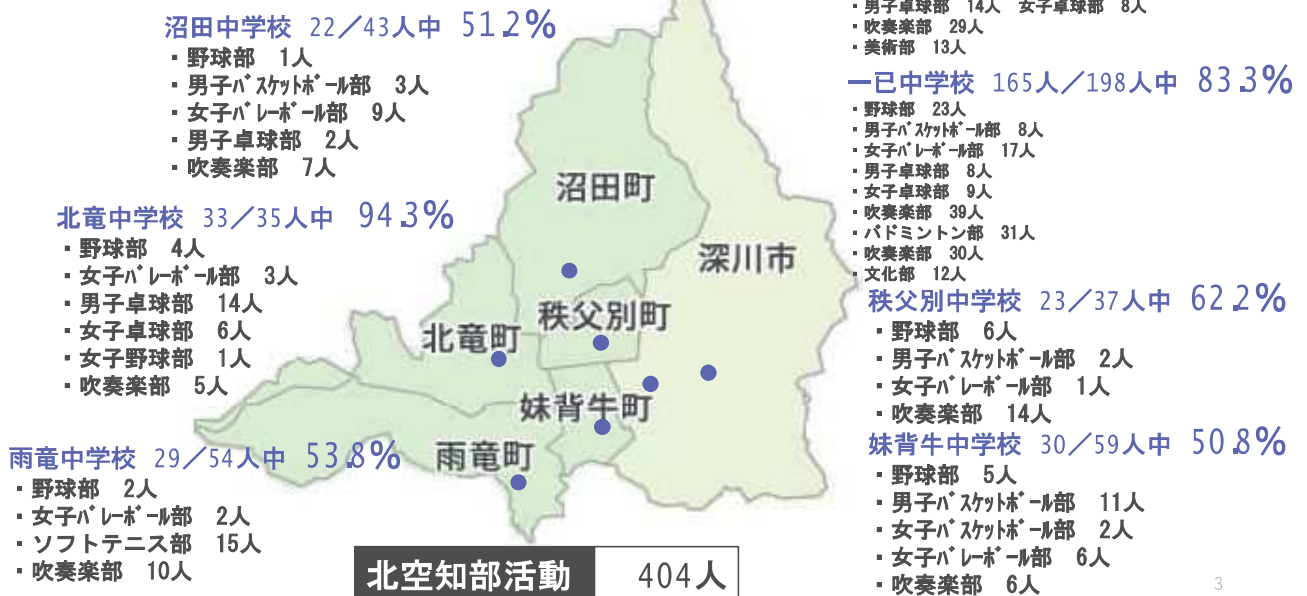
北空知1市5町の小・中学校

2024.5.1現在（人口は2024.9.1現在）



中学生の部活動加入状況

2024.5.1現在 非常設の部活動、クラブ化を除く



合同部活動の状況

2024.5.1現在 ★印は合同

- 沼田中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 1人
 ★男子バスケットボール部（妹秩沼） 3人
 ★女子バレーボール部（雨沼） 9人
 ・男子卓球部 2人
 ★吹奏楽部（北沼） 7人
- 北竜中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 4人
 ★女子バレーボール部（深妹北） 3人
 ・男子卓球部 14人
 ・女子卓球部 6人
 ★女子野球部（空知） 1人
 ★吹奏楽部（北沼） 5人
- 雨竜中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 2人
 ★女子バレーボール部（雨沼） 2人
 ・ソフトテニス部 15人
 ・吹奏楽部 10人



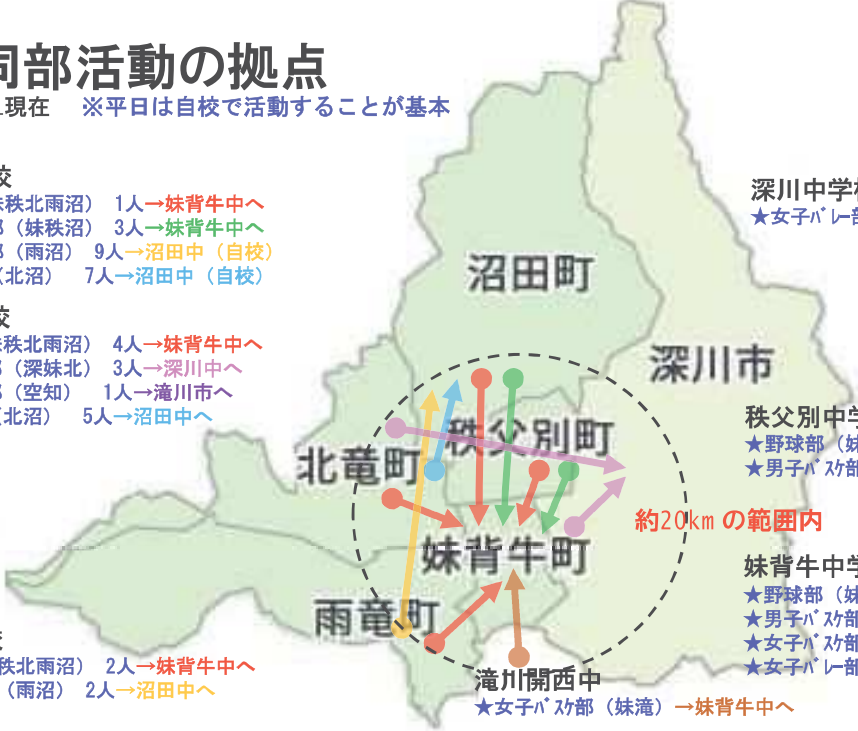
- 深川中学校**
 ・野球部 16人
 ・男子バスケットボール部 14人
 ★女子バレーボール部（深妹北） 10人
 ・男子卓球部 17人
 ・吹奏楽部 39人
 ・美術部 13人
- 一已中学校**
 ・野球部 23人
 ・男子バスケットボール部 8人
 ・女子バレーボール部 17人
 ・男子卓球部 8人
 ・女子卓球部 9人
 ・吹奏楽部 39人
 ・バドミントン部 31人
 ・吹奏楽部 30人
 ・文化部 12人
- 秩父別中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 6人
 ★男子バスケットボール部（妹秩沼） 2人
 ・女子バレーボール部 1人
 ・吹奏楽部 14人
- 妹背牛中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 5人
 ★男子バスケットボール部（妹秩沼） 11人
 ★女子バスケットボール部（妹滝） 2人
 ★女子バレーボール部（深妹北） 6人
 ・吹奏楽部 6人

北空知部活動 404人

合同部活動の拠点

2024.5.1現在 ※平日は自校で活動することが基本

- 沼田中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 1人→妹背牛中へ
 ★男子バス部（妹秩沼） 3人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（雨沼） 9人→沼田中（自校）
 ★吹奏楽部（北沼） 7人→沼田中（自校）
- 北竜中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 4人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（深妹北） 3人→深川中へ
 ★女子野球部（空知） 1人→滝川市へ
 ★吹奏楽部（北沼） 5人→沼田中へ
- 雨竜中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 2人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（雨沼） 2人→沼田中へ



- 深川中学校**
 ★女子バレー部（深妹北） 10人→深川中（自校）
- 秩父別中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 6人→妹背牛中へ
 ★男子バス部（妹秩沼） 2人→妹背牛中へ
- 妹背牛中学校**
 ★野球部（妹秩北雨沼） 5人→妹背牛中（自校）
 ★男子バス部（妹秩沼） 11人→妹背牛中（自校）
 ★女子バス部（妹滝） 2人→妹背牛中（自校）
 ★女子バレー部（深妹北） 6人→深川中へ
- 滝川開西中**
 ★女子バス部（妹滝） →妹背牛中へ

中学生の非常設の部活動・クラブチーム加入状況

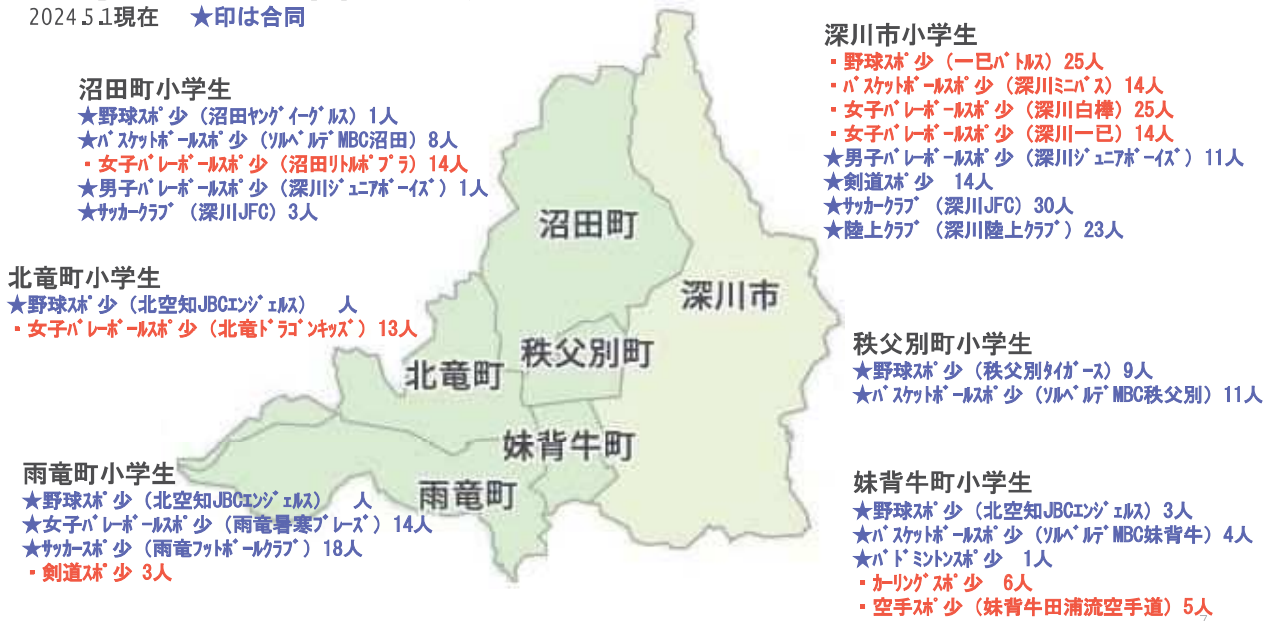
2024.5.1現在



6

小学生の少年団・クラブ加入状況

2024.5.1現在 ★印は合同



少年団・クラブの拠点

2024.5.1現在

沼田町小学生

- ★野球少 (秩沼) 1人→秩父別町へ
- ★バスケ少 (秩妹沼) 8人→秩父別町・妹背牛町へ
- ★男子バレー少 (深沼) 1人→深川市へ
- ★サッカー (深一沼) 3人→深川市へ

北竜町小学生

- ★野球少 (妹北雨) 1人→妹背牛町へ

雨竜町小学生

- ★野球少 (妹北雨) 1人→妹背牛町へ
- ★女子バレー少 14人→雨竜町
- ★サッカー少 (雨深) 18人→雨竜町

深川市小学生

- ★男子バレー (深沼) 11人→深川市
- ★剣道少 (深一納) 14人→深川市
- ★サッカー (深一沼) 30人→深川市
- ★硬式野球クラブ (深秩北雨沼+滝赤芦小) 25人→深川市
- ★陸上クラブ (深一) 23人→深川市

秩父別町小学生

- ★野球少 (秩沼) 9人→秩父別町
- ★バスケ少 (秩妹沼) 11人→秩父別町・妹背牛町へ

妹背牛町小学生

- ★野球少 (妹北雨) 3人→妹背牛町
- ★バスケ少 (秩妹沼) 4人→妹背牛町・秩父別町へ
- ★パドミント少 (妹深) 1人→妹背牛町

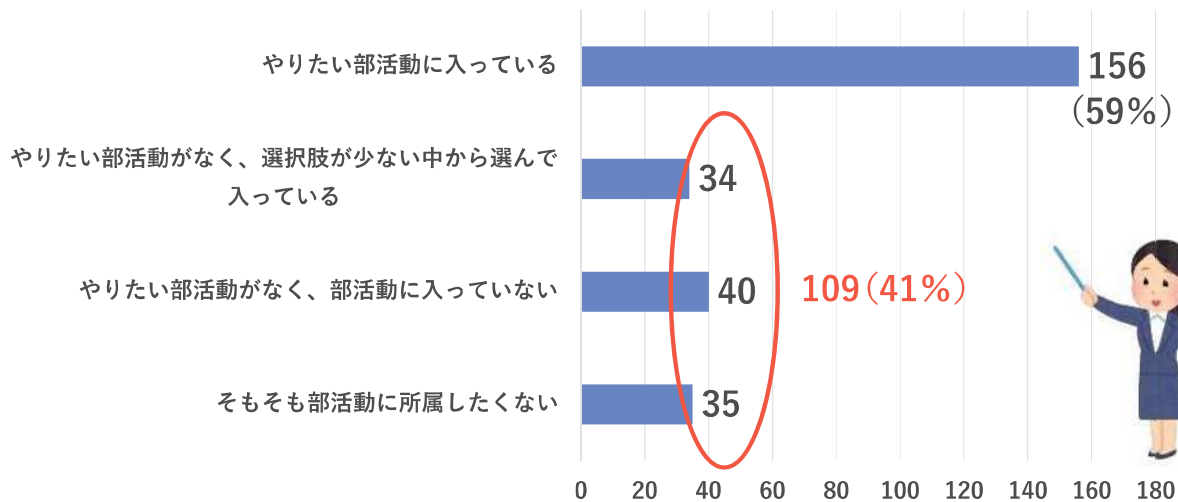


8

部活動アンケート結果 (1市5町の中学校1～3年生)

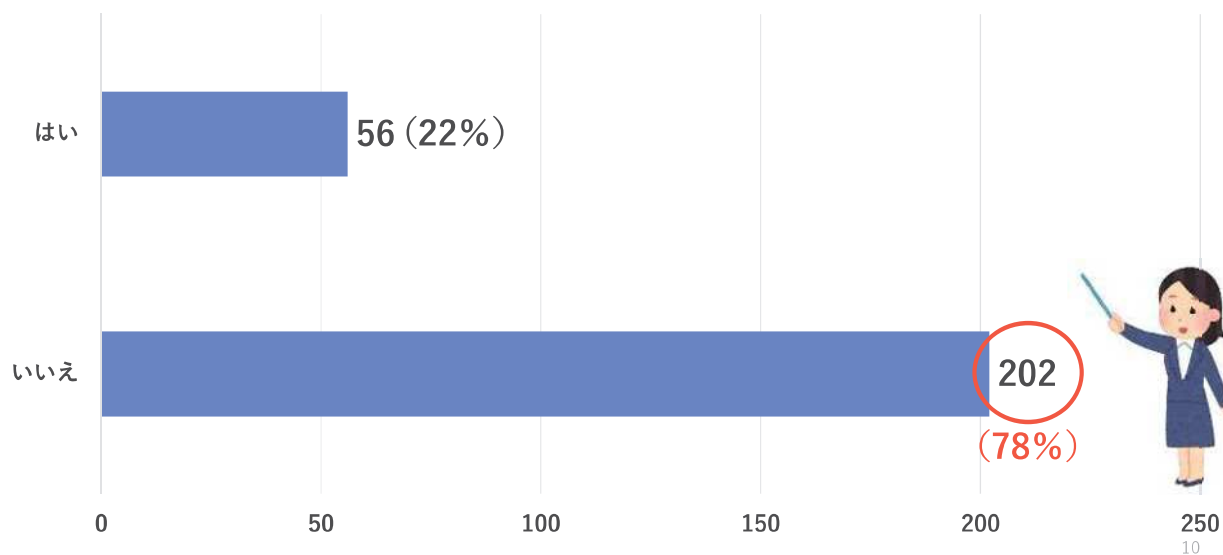
■現在、やりたい部活動に所属していますか。

2024.5～6月調査

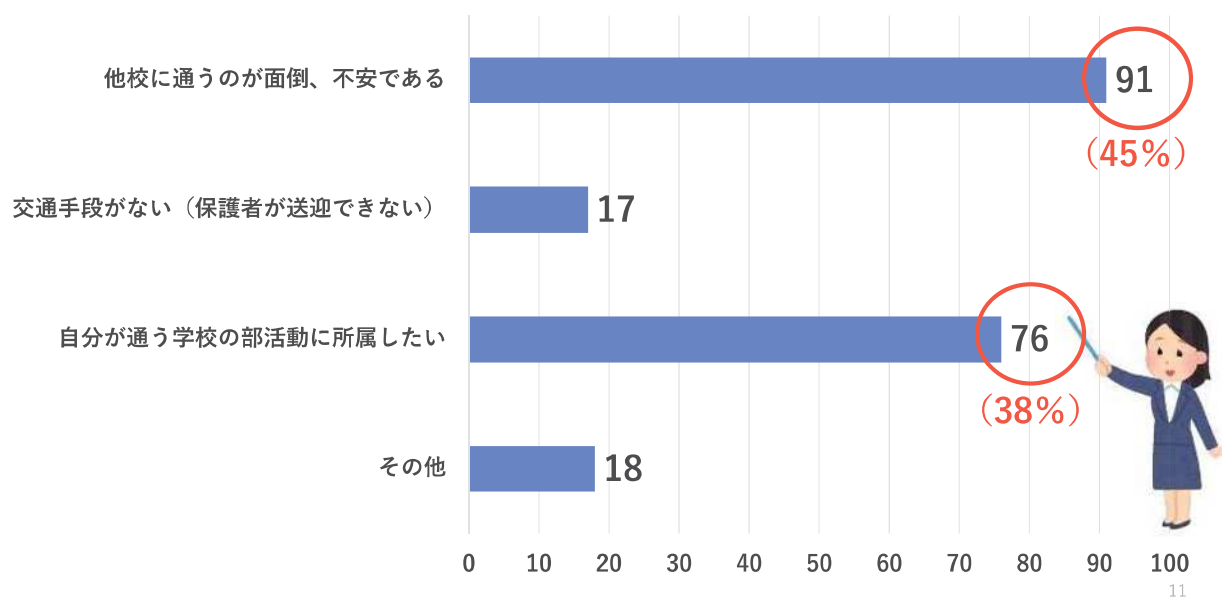


9

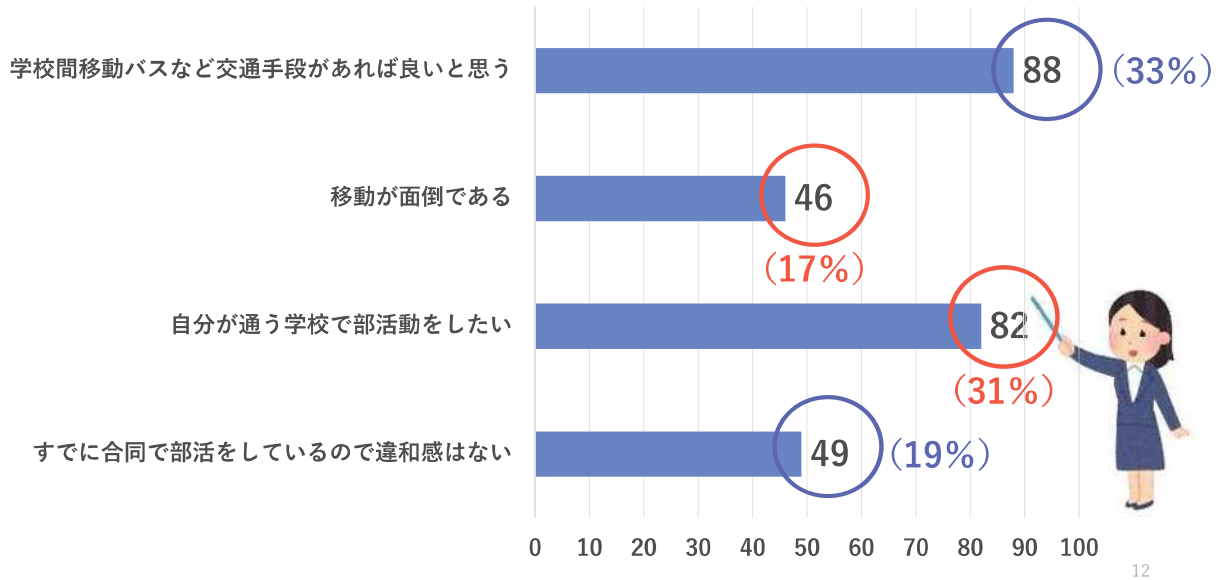
■北空知近隣の他校で自分がやりたい（やってみたい）部活動があったら、その学校に通って活動（所属）してみたいですか。



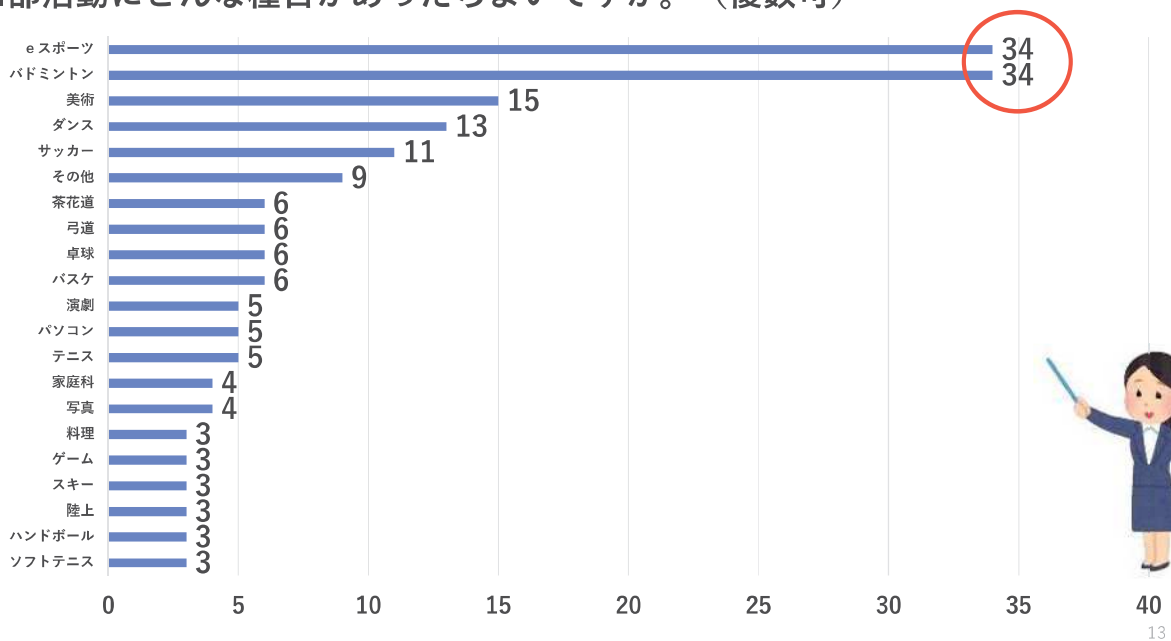
■前問で「いいえ」と答えた理由は何ですか。



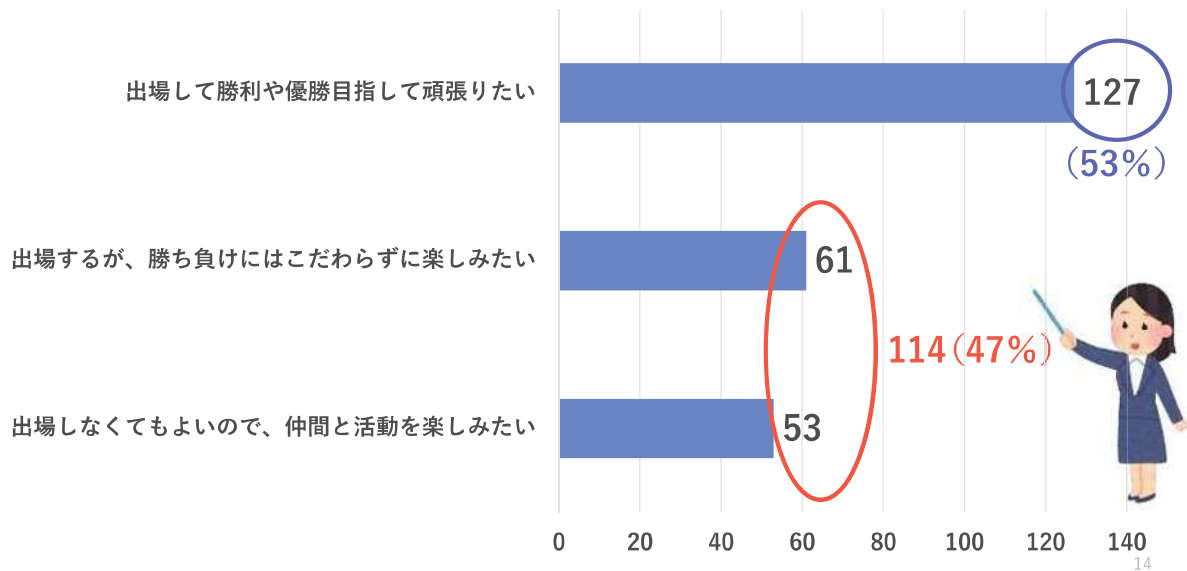
■例えば、北空知管内の学校で部活動の拠点を、種目ごとに分けることについてどう思いますか。



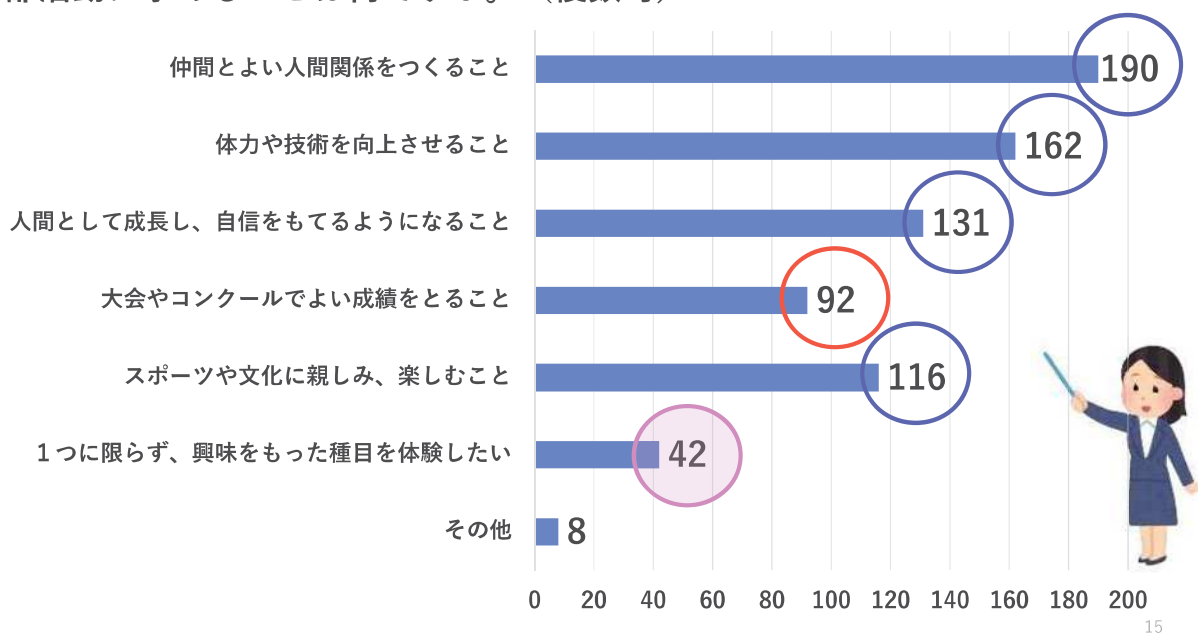
■部活動にどんな種目があったらよいですか。（複数可）



■現在所属している部活動で大会やコンクールに出場することについて
どう思いますか。



■部活動に求めることは何ですか。(複数可)



北空知の地域性

- (1) 農業（水稲・畑作・園芸・果樹園等）を中心とした農村地域
- (2) 冬は豪雪地帯、降雪で度々交通に影響も
- (3) 1市5町は、北空知平野の平坦な地域に市街地
- (4) 約20kmの範囲内に北空知の全小中学校がある
- (5) JR留萌線は、2026年3月末で全線廃止
- (6) 民間バス、タクシー会社は運転手不足。バス路線減便・再編
- (7) 合同部活動が増え、保護者が送迎できない家庭も多い
- (8) 急激な子どもの減少で
5年後に、小学生は25%減、中学生は30%減。
現在、1学年170～190人。
10年後は、1学年120～130人の見込み
- (9) 各競技団体の成人スポーツ人口減少・高齢化



16

北空知の公共交通等

- (1) JR留萌線（石狩沼田駅—秩父別駅—北—已駅—深川駅）
- (2) JR函館本線（札幌駅—滝川駅—妹背牛駅—深川駅—納内駅—旭川駅）
- (3) 空知中央バス（滝深線 滝川駅—音江—深川市立病院）
- (4) 空知中央バス（深滝線 深川市立病院—雨竜—滝川駅）
- (5) 空知中央バス（深旭線 深川市立病院—納内—旭川駅）
- (6) 空知中央バス（沼田線 深川市立病院—秩父別—沼田駅）
- (7) 空知中央バス（多度志線 深川市立病院—曙団地—多度志）
- (8) 空知中央バス（西高西北星線 深川西高—曙団地—西北星）
- (9) 空知中央バス（深川市内循環線 深川市立病院—深川西高・曙団地—深川駅）
- (10) 沿岸バス（留萌旭川線 留萌—秩父別—深川—旭川）
- (11) 深川ハイヤー協会・音江ハイヤー（深川市）
- (12) 納内ハイヤー（深川市）
- (13) 新星ハイヤー（深川市）
- (14) 三共ハイヤー（妹背牛町・秩父別町）
- (15) 和ハイヤー（北竜町）
- (16) 明日萌観光ハイヤー（沼田町）
- (17) 雨竜ハイヤー（雨竜町）
- (18) 各市町営の路線バス、スクールバス

2026年3月末
留萌線廃止

バス減便・再編
運転手不足

タクシー台数減
運転手不足



17

北空知の体育施設

深川市

- 深川小学校、一已小学校、納内小学校、音江小学校
北新小学校、多度志小学校の体育館
- 深川中学校、一已中学校の体育館
- 総合体育館
- 市民球場
- 市民テニスコート
- 陸上競技場
- 温水プール(ア・エール)
- 石狩緑地野球場A・B
- 石狩緑地サッカー場・運動場
- 深川市音江広里交流館(エフパシオ)



妹背牛町

- 妹背牛小学校体育館
- 妹背牛中学校体育館
- 総合体育館
- 農業者トレーニングセンター(土間体育館)
- カーリングホール

18

北空知の体育施設

秩父別町

- 秩父別小学校体育館
- 秩父別中学校体育館
- ファミリースポーツセンター
- テニスコート
- 生涯学習センター(体育館)
- ふれあいプラザ(土間体育館)
- B&G海洋センター



北竜町

- 真竜小学校体育館
- 北竜中学校体育館
- 農村環境改善センター(体育館)
- 町営野球場
- 町営テニスコート
- B&G海洋センター
- 町営碧水スキー場



19

北空知の体育施設

雨竜町

- 雨竜小学校体育館
- 雨竜中学校体育館
- スポーツセンター
- 総合グラウンド
- テニスコート



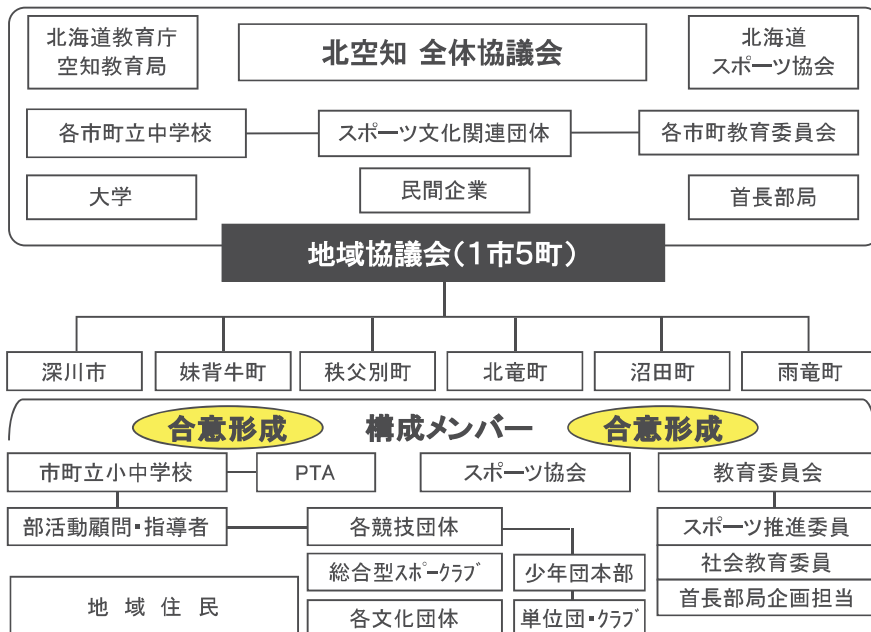
沼田町

- 沼田小学校体育館
- 沼田中学校体育館
- 町民体育館
- 町民球場
- 町営高穂スキー場
- B&G海洋センター



20

北空知部活動地域移行に向けた推進体制図



21

北空知が進むべき方向

(1) 北空知協働で進める持続可能な部活動
(青少年スポーツ・文化活動)

(2) 北空知圏域の地域人材確保
(指導者の安定的な確保・育成)



(3) 北空知圏域の青少年スポーツ・文化活動を通して、豊かな人間性を育み、これからの社会を担う人材を育てる。

22

広域連携による部活動に向けて

(1) 北空知の人口規模で考えた場合
→ 広域で取り組むことを前提

(2) 10～20年先を見越した北空知の地域性
→ 特性・資源・人材を活かした取り組み

(3) 子どもたちの環境整備
→ 部活動を取り巻く環境変化に適応

広域連携の実証事業

R6 地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト
事業主体：北海道教育庁（スポーツ庁委託事業）



実証地域 → 沼田町（北空知1市5町）

- ・北空知中学生マルチスポーツ体験イベント（10月26日）
- ・北空知広域連携セミナー（11月24日）
- ・北海道広域連携検討会議（年3回）
- ・実証事業成果報告会（2月）



24

1. 運営主体、マネジメント組織

- ① 地域クラブ活動の運営主体とマネジメント
- ② 関係団体との連携
- ③ 広域モデル（自走化）の全国的な好事例の収集

北空知広域モデル

3. 指導者の確保

- ① 地域指導者の量の確保と質の保障
- ② 地域クラブ活動を支える継続的な指導者依頼の仕組み
- ③ 地域クラブ活動の要件等の明確化
- ④ 外部人材（大学・企業・プロチーム等）の働きかけ
- ⑤ 学校教職員、自治体職員等の兼職兼業、ICT活用
- ⑥ 指導者の報酬、謝金、交通費の積算

2. 財源モデル

- ① 地域クラブの維持・運営に必要なコストの積算
- ② 収支構造と流れ
- ③ 自主財源、受益者負担、公的資金との適切なバランス
- ④ 経済的困窮世帯への参加費用負担支援とそのスキーム
- ⑤ 財政的支援等に賛同する応援企業登録制度の創設
- ⑥ 企業版ふるさと納税の事業位置づけ（北空知で統一）

4. 移動交通手段の確保

- ① 交通事業者の確保（学校間バス・デマンドタクシー）
- ② ライドシェアや部活動MaaSの事業性検証
- ③ 送迎ルート、乗車時間の設定
- ③ 公共交通利用に対する助成
- ④ 送迎収支のシミュレーション、採算性、受益者負担

5. 拠点校方式等の導入

- ① 生徒のニーズや意見等が反映された地域クラブ活動の拠点
- ② 地理的条件を考慮した拠点
- ③ 学校施設だけに依らない拠点（公共施設の有効活用）

調査開始

6. 部活動サポートサービス

- ① 民間事業者による地域クラブ運営委託
- ② 民間事業者のシステム、アプリを活用した運用
- ③ 運営業務の効率化、低コスト化、アウトソーシング

25

今後の実証事業例（検討中）

R6～7「北空知広域モデル」の具体的方針を決めた上で

■部活動の地域指導者実証事業

地域住民、大学、プロチーム、ICTによる指導体験

■地域クラブ活動の実証事業

女子バレーボール地域クラブ化を実証、※拠点校方式・送迎実証事業とセット

■高ニーズ部活動の実証事業

eスポーツクラブ活動を実証

■部活動の送迎実証事業

デマンドタクシー支援、ライドシェア、公共交通JR／バス利用助成支援

■部活動運営組織の実証事業

部活動コーディネーター（指導者調整等）、部活動事務員（庶務・経理）

北空知管内のスポーツ協会（競技団体）や総合型地域スポーツクラブ

26

「ミライの部活動」体験会報告書 10/26（土）14：30～17：30 沼田中学校体育館



【参加者】

- ・中学生12名（うちバスケット部7名）
- ・小学生17名
- ・保護者、教員等（観覧）8名
- ・市町教育委員会 9名
- ・主催者側（道教委・21総研）6名
- ・指導者 6名

【マルチスポーツ体験】

バルシューレ 指導～辻本氏外

基礎的な運動能力を養うプログラムを、スカーフやボールを使い、2人1組となりゲーム感覚で実施。



【外部人材による指導】

バスケットボール 指導～田尻選手外

全員でドリブルの基礎を学んだ後、経験者と初心者に分れて3人制のバスケットボールのルールや戦略等を実技指導。



【ICTツールの活用】

SPLYZA 指導～渋谷氏

スマホやタブレットを使い、自分やチームのプレー動画を共有し、反省や研究ができるアプリの使い方を指導。



■体験会の様子■

参加者は、初見の指導者に他学校の生徒、そして沼田中学生以外は不慣れな場所での体験会となったが、活動が始まると皆、指導者の言うことをよく聞き、楽しそうに活動していた。指導者の手腕もあると思うが、退屈そうな子はいなかった。広域的な活動の理想的なモデルの疑似体験になったと思う。

（スポーツイベント担当：秩父別町・雨竜町）

広域連携による部活動地域移行

意見交換



広域連携を考える (北空知広域モデル)



北空知広域モデルのたたき台

3



25

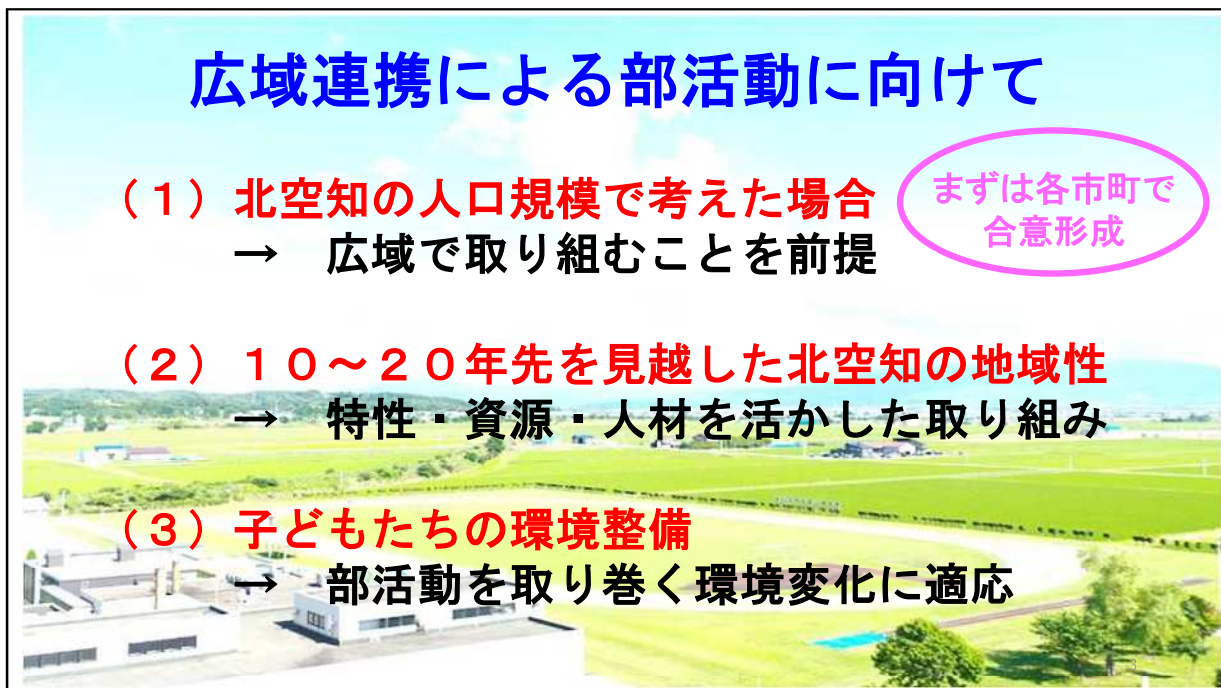
広域連携による部活動に向けて

(1) 北空知の人口規模で考えた場合
→ 広域で取り組むことを前提

まずは各市町で
合意形成

(2) 10～20年先を見越した北空知の地域性
→ 特性・資源・人材を活かした取り組み

(3) 子どもたちの環境整備
→ 部活動を取り巻く環境変化に適応



できるものから地域移行 (地域クラブ化)していく



どう人材をするか？

各市町の地域指導者

(量・質・報酬)

外部人材(大学、プロチーム)

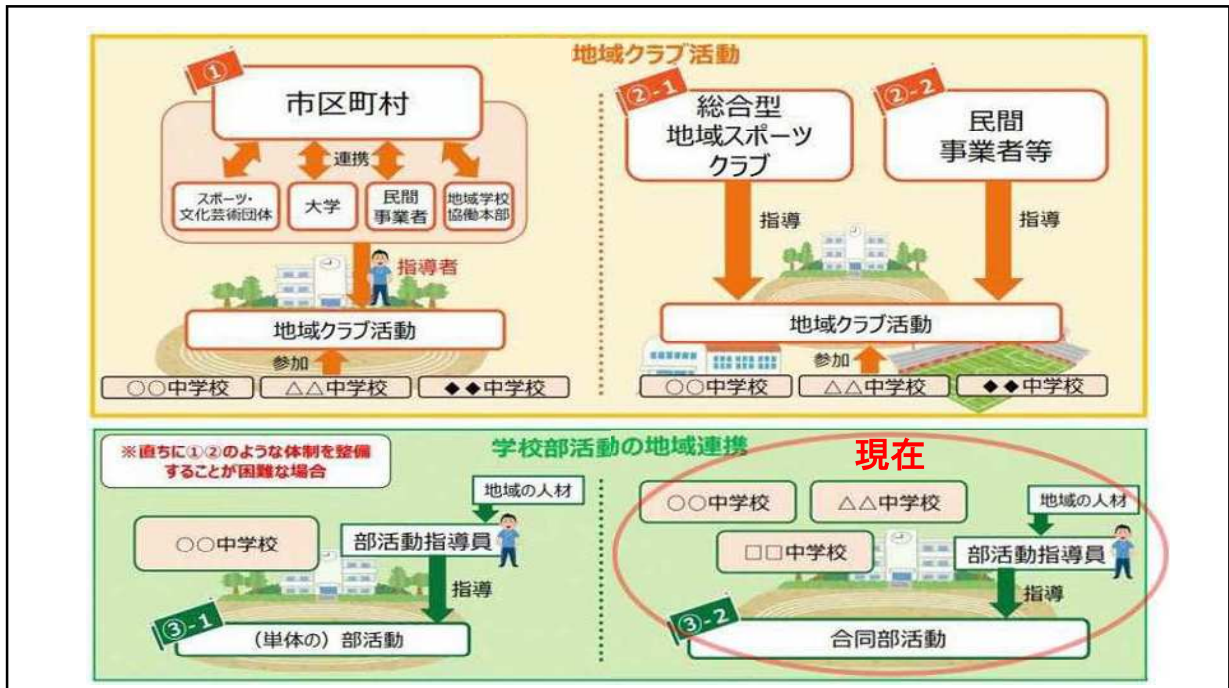
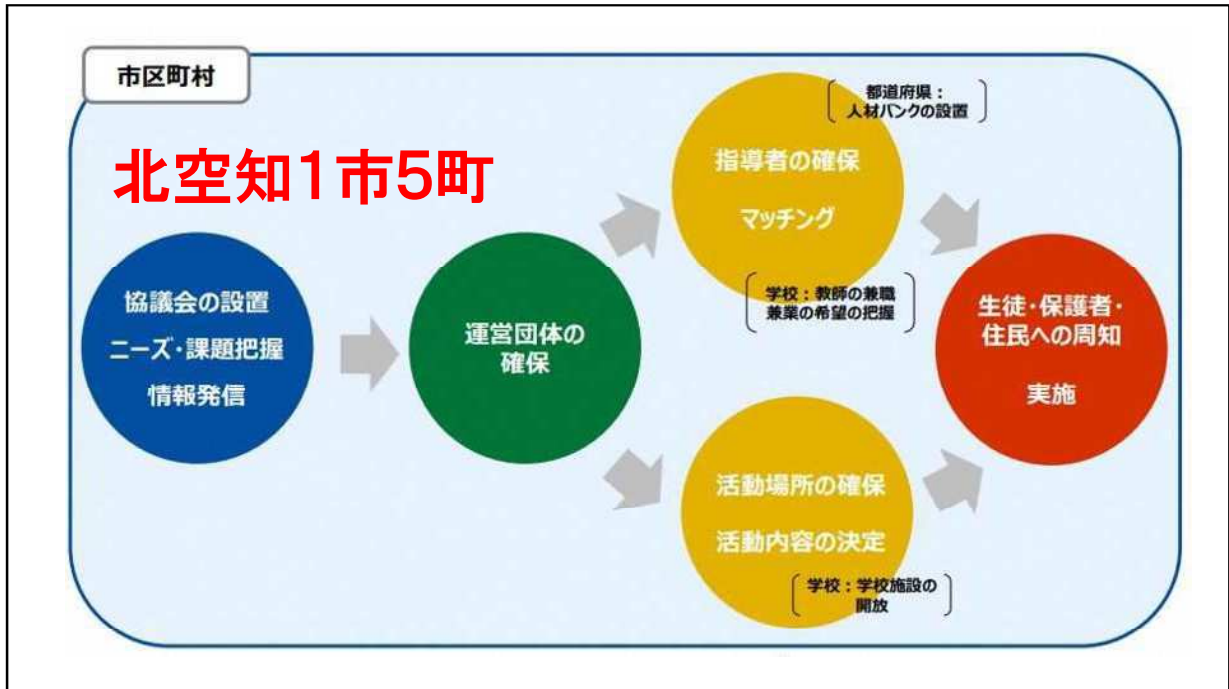
部活動コーディネーター



どこが運営するか？

- 地域スポーツ、文化団体運営型
(スポーツクラブ・スポ協・民間事業者)
- 市町村運営型、団体連携型
(地域団体・任意団体・競技団体)





地域クラブ活動の場所確保 拠点校・公共施設 移動交通手段の確保



合同部活動の状況

2024.5.1現在 ★印は合同

- 沼田中学校**
 ★野球部（妹秩北兩沼） 1人
 ★男子バスケ部（妹秩沼） 3人
 ★女子バレー部（雨沼） 9人
 ・男子卓球部 2人
 ★吹奏楽部（北沼） 7人

- 北竜中学校**
 ★野球部（妹秩北兩沼） 4人
 ★女子バレー部（深妹北） 3人
 ・男子卓球部 14人
 ・女子卓球部 6人
 ★女子野球部（空知） 1人
 ★吹奏楽部（北沼） 5人

- 雨竜中学校**
 ★野球部（妹秩北兩沼） 2人
 ★女子バレー部（雨沼） 2人
 ・ソフトテニス部 15人
 ・吹奏楽部 10人



北空知部活動 404人

- 深川中学校**
 ・野球部 16人
 ・男子バスケ部 14人
 ★女子バレー部（深妹北） 10人
 ・男子卓球部 17人
 ・吹奏楽部 39人
 ・美術部 13人

- 一巳中学校**
 ・野球部 23人
 ・男子バスケ部 8人
 ・女子バレー部 17人
 ・男子卓球部 8人
 ・女子卓球部 9人
 ・吹奏楽部 39人
 ・バドミントン部 31人
 ・吹奏楽部 30人
 ・文化部 12人

- 秩父別中学校**
 ★野球部（妹秩北兩沼） 6人
 ★男子バスケ部（妹秩沼） 2人
 ・女子バレー部 1人
 ・吹奏楽部 14人

- 妹背牛中学校**
 ★野球部（妹秩北兩沼） 5人
 ★男子バスケ部（妹秩沼） 11人
 ★女子バスケ部（妹滝） 2人
 ★女子バレー部（深妹北） 6人
 ・吹奏楽部 6人

合同部活動の拠点

2024.5.1現在 ※平日は自校で活動することが基本

沼田中学校
 ★野球部（妹秩北雨沼） 1人→妹背牛中へ
 ★男子バス部（妹秩沼） 3人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（雨沼） 9人→沼田中（自校）
 ★吹奏楽部（北沼） 7人→沼田中（自校）

北竜中学校
 ★野球部（妹秩北雨沼） 4人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（深妹北） 3人→深川中へ
 ★女子野球部（空知） 1人→滝川市へ
 ★吹奏楽部（北沼） 5人→沼田中へ

雨竜中学校
 ★野球部（妹秩北雨沼） 2人→妹背牛中へ
 ★女子バレー部（雨沼） 2人→沼田中へ

深川中学校
 ★女子バレー部（深妹北） 10人→深川中（自校）

秩父別中学校
 ★野球部（妹秩北雨沼） 6人→妹背牛中へ
 ★男子バス部（妹秩沼） 2人→妹背牛中へ

妹背牛中学校
 ★野球部（妹秩北雨沼） 5人→妹背牛中（自校）
 ★男子バス部（妹秩沼） 11人→妹背牛中（自校）
 ★女子バス部（妹滝） 2人→妹背牛中（自校）
 ★女子バレー部（深妹北） 6人→深川中へ

滝川開西中
 ★女子バス部（妹滝） →妹背牛中へ

約20kmの範囲内

5

北空知の体育施設

深川市

- ・ 深川小学校、一巳小学校、納内小学校、音江小学校
北新小学校、多度志小学校の体育館
- ・ 深川中学校、一巳中学校の体育館
- ・ 総合体育館
- ・ 市民球場
- ・ 市民テニスコート
- ・ 陸上競技場
- ・ 温水プール(ア・エール)
- ・ 石狩緑地野球場A・B
- ・ 石狩緑地サッカー場・運動場
- ・ 深川市音江広里交流館（エフパシオ）

妹背牛町

- ・ 妹背牛小学校体育館
- ・ 妹背牛中学校体育館
- ・ 総合体育館
- ・ 農業者トレーニングセンター（土間体育館）
- ・ カーリングホール








18

北空知の体育施設

秩父別町

- ・秩父別小学校体育館
- ・秩父別中学校体育館
- ・ファミリースポーツセンター
- ・テニスコート
- ・生涯学習センター（体育館）
- ・ふれあいプラザ（土間体育館）
- ・B&G海洋センター



北竜町

- ・真竜小学校体育館
- ・北竜中学校体育館
- ・農村環境改善センター（体育館）
- ・町営野球場
- ・町営テニスコート
- ・B&G海洋センター
- ・町営碧水スキー場



19

北空知の体育施設

雨竜町

- ・雨竜小学校体育館
- ・雨竜中学校体育館
- ・スポーツセンター
- ・総合グラウンド
- ・テニスコート



沼田町

- ・沼田小学校体育館
- ・沼田中学校体育館
- ・町民体育館
- ・町民球場
- ・町営高穂スキー場
- ・B&G海洋センター



20

財源の確保
持続可能な運営・自走化
公的資金・受益者負担
応援企業



北空知広域連携による 部活動地域移行に向けた検討経過 (令和6年度)

★スポーツ庁委託事業 ●沼田町実施事業
■北空知圏教育委員会事業 ◆協議会事業

令和6年5月 北空知圏振興協議会教育部会

令和7年2月3日修正

時期	事業等	内 容	関係自治体					
			深	妹	秩	北	沼	雨
4/15	★R6地域スポーツ連携・協働 再構築推進プロジェクト ※スポーツ庁委託事業	(実証事業) ・近隣市町の中学生を集めたスポーツイベント ・広域連携による地域移行への理解促進フォーラム ・財源、人材確保に向けた課題解決(Do startの広域モデルとして)	○	○	○	○	○	○
4/19	■R6第1回 北空知市町教育長会議	(協議内容) ・北空知広域連携による部活動地域移行に向けたスケジュール ・各市町部活動地域移行推進協議会の設置について ・北空知部活動地域移行へ向けた推進体制について ・部活動に関するアンケートの実施について	○	○	○	○	○	○
5/1~	●大学連携によるスポーツ地方創生事業 札幌国際大学との連携 部活動地域移行に向けた指導者確保	(実証事業)※沼田町実施事業 ・外部指導者導入確保 ・現場指導とオンライン指導の実施	△	△	△	△	○	△
5/9	■R6第1回 北空知圏教育部会	(協議内容) ・北空知広域連携による部活動地域移行に向けたスケジュール ・各市町部活動地域移行推進協議会の設置について ・北空知部活動地域移行へ向けた推進体制について ・部活動に関するアンケートの実施について	○	○	○	○	○	○
5/24~	■部活動に関するアンケート実施 実施期間 5/24(金)~6/14(金)	(実施内容) ・中学校部活動に関するアンケート(生徒・保護者・教職員) ・スポーツ文化活動に関するアンケート(児童・保護者)	○	○	○	○	○	○
5/29~	■部活動地域移行推進協議会設置	(業務内容) ・各市町設置規則の施行、補正予算議決、委員委嘱	○	○	○	○	○	○
6/17~	■部活動に関するアンケート集計分析作業	(業務内容) ・Google formで集計したデータを元に公表資料作成	○	○	○	○	○	○
7/11	■R6第2回 北空知圏教育部会 (オンライン)	(協議内容) ・第1回地域協議会の議題について	○	○	○	○	○	○
7/19~	■第1回地域協議会(7~9月) 各市町で開催 沼田町7/19	(協議内容) ・部活動に関するアンケートの集計結果について ・広域連携による地域移行の推進について	○	○	○	○	○	○
	■アンケート結果・地域協議会の公表	(業務内容) ・小中学校、保護者、関係機関へ結果公表(各市町HP等)	○	○	○	○	○	○
8/28	★第1回北海道広域連携検討会議 ※スポーツ庁委託事業 実証自治体 沼田町から2名 スポーツ関係団体:沼田町から2名 オブザーバーとして各市町教委	(協議内容) ・実証地域からの情報提供、アドバイザーから情報提供・助言 ・主催 北海道教委、環境生活部、総合政策部 ・アドバイザー SDB石塚氏、SLDI辻本氏、道教大 武田教授 ・プロチーム アルデミス北海道、北海道経済産業局	○	○	○	○	○	○
9/8	●総合型地域SC全道情報交換会 北空知各市町協議会委員 北空知の一般住民、保護者等 主催 北海道スポーツ協会 後援 沼田町教委	(開催内容) ・部活動の地域移行 みんなで考えよう「北海道の広域モデル」 ・事例紹介(北空知の取り組み状況) ・グループディスカッション ユーティーター 磯田氏	○	○	○	○	○	○
10/9	■R6第3回 北空知圏教育部会 (オンライン)	(協議内容) ・第1回全体会議の協議内容について ・北空知中学生スポーツ体験イベント(10/26)について	○	○	○	○	○	○
10/26	★北空知中学生マルチスポーツ体験イベント ※スポーツ庁委託事業 会場:沼田学園沼田中学校体育館	(実証事業) ・マルチスポーツとしてのバルシューレ体験 ・バスケットボールの外部指導者(プロ)による指導体験 ・ICTを活用した指導体験(SPLYZA teams)	○	○	○	○	○	○
11/5	■R6第4回 北空知圏教育部会 (オンライン)	(協議内容) ・第1回全体会議の協議内容について ・北空知広域連携セミナーの開催(11/24)について	○	○	○	○	○	○
11/21	■第1回北空知広域連携検討会議 北空知各市町協議会委員の代表2~3名 北空知各市町教委職員1~2名	(協議内容) ・広域連携による地域移行の推進について ・北空知広域モデルに向けた調査について ・北空知広域連携セミナーの開催(11月)について	○	○	○	○	○	○
11/24	★北空知広域連携セミナー ※スポーツ庁委託事業 会場:北竜町公民館	(実施内容) ・広域連携による地域移行への理解促進 ・講演会 講師 SDB石塚氏 ・事例紹介(長野県南佐久郡)、パネルディスカッション	○	○	○	○	○	○
1/22	★第2回北海道広域連携検討会議 ※スポーツ庁委託事業	(協議内容) ・実証自治体における広域モデルについて	○	○	○	○	○	○
1/23	■R6第5回 北空知圏教育部会 (オンライン)	(協議内容) ・地域協議会の開催状況、協議内容について ・北空知広域モデルに向けた調査状況について ・第2回全体会議の開催日程について	○	○	○	○	○	○
2/	■R6第6回 北空知圏教育部会 (オンライン)	(協議内容) ・地域協議会の開催状況、協議内容について ・北空知広域モデルに向けた調査状況について ・第2回全体会議の協議内容について	○	○	○	○	○	○
2/28	■第2回北空知広域連携検討会議 ■第2回地域協議会(11~3月) 各市町で開催 沼田町2/5	(協議内容) ・北空知広域モデルに向けた調査状況について ・R7以降実証事業の提案について	○	○	○	○	○	○
2/下旬	★実証事業成果報告会(フォーラム) ※スポーツ庁委託事業	(協議内容) ・実証事業の成果報告について	○	○	○	○	○	○
3/								

「ミライの部活動」体験会 in沼田町

令和6年10月26日(土) @沼田中学校
参加者 28名(小1～中2) ※北空知1市5町の生徒が対象
指導者

一般社団法人 SLDI 辻本 智也 氏
FUZ HOKKAIDO.EXE 田尻 洋輔 氏



バルシューレ



バスケットボール

アンケートとりまとめ中

運動の楽しさ

指導者との交流

「ミライの部活動」体験会 in沼田町



株式会社SPLYZA

企業との連携

ICTの活用推進

【広域連携実現に向けた課題】

- ✓ 地理的要因により、平日や冬期間の広域でのクラブ実施が困難
- ✓ 集合できない日の効果的な練習実施に課題



ICTの活用による課題解決



- 1 練習・試合映像の撮影&アップロード
→映像の共有、振り返りが可能
- 2 自由なタグ付け&描き込み
→考えの可視化、生徒同士のコミュニケーションの活性化
- 3 個別最適な学びの実現
→プロセスを重要視した評価が可能に



SPLYZA TEAMSによるデモンストラーションの様子

部活動の地域移行広域連携セミナーの開催

北空知周辺地域のスポーツ団体職員や、自治体職員に加え、全道から約100名（オンライン含む）の方々が参加し、講演やトークセッションを通して、子どもたちの地域におけるスポーツ環境の維持・充実や、部活動の地域移行の広域連携理解に向け、道外事例をもとに、取組の考え方や、近隣市町村との連携の進め方を研究することができた。

開催日時等

令和6年11月24日（日）14:00～16:30
北竜町公民館2階大ホール／オンライン配信

参加者 約100名

各市町村担当者、地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト広域連携会議構成員、学校関係者、PTA関係者、各教育局サポートチーム担当者、総合型スポーツクラブ関係者、スポーツ・文化関係団体、その他本セミナーに興味のある方

日程及び内容

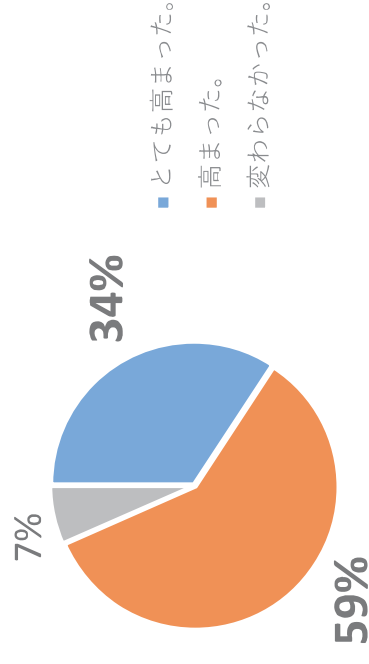
- (1) 主催者挨拶
- (2) 基調講演
講師：スポーツデーターバンク株式会社代表取締役 石塚 大輔 氏
「部活動の地域移行の現状と進め方の手順」
- (3) 取組事例紹介
長野県佐久穂町教育委員会 教育長 渡邊 秀二 氏
南佐久郡中学校部活動運営委員会 統括コーディネーター 新海 吉永 氏
- (4) 登壇者によるパネルディスカッション
- (5) 閉会、ネットワーキング

頂いた主な感想

- ・都市部ではなく、地域の規模的にも北空知（北海道の他の地域）に近いところの取組だったので、イメージがやすかった。大変参考になる取組だったと思う。
- ・北海道特有の「距離」の問題等、考えなければならぬ課題はありますが、子どもたちの機会を確保することを最優先に進めていきたいと感じました。



取組事例紹介を聞いて、地域移行における広域連携について関心が高まりましたか？(n=41)



部活動地域展開に係るロードマップ【沼田町 2024.12月現在】

地域の現状・課題

- 北空知1市5町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、雨竜町、沼田町）の多くの少年団活動・部活動において、人数の不足から単独での活動が困難となっており、地域移行の議論が始まる以前から、既にいくつかの活動を他市町と合同で行っている状況である。
- 合同で活動を行うにあたり、活動場所までの移動に課題がある。部活動が始まる時間は15時30分～16時00分頃であり、共働きであることも多い子育て世代にとって大きな負担となっている。また、保護者対象のアンケートでも、大多数の保護者が活動場所（町外）への移動に課題があると考えている。
- 児童生徒は、存続できている少ない部活動の中から選んで加入することとなるため選択肢が少なく、中学生を対象としたアンケートの結果、「やりたい部活動に加入している」と回答する生徒と、「やりたい部活動がない」と回答している生徒の割合がほぼ同程度になっている。
- 現在は、中学校教諭が部活動の指導に当たっているが、地域移行後に「できれば兼職兼業による指導に従事したくない」と考える教員がほとんどであり、地域移行後の指導者の人材確保、また確保手段の確立に課題がある。



現在の取組内容

- 令和6年より、北空知1市5町で広域的に地域移行に取り組むための枠組み（北空知広域連携検討会議）を設定した。1市5町それぞれが各市町において地域協議会を設立し、関係者（学校、PTA、体育協会、文化団体等）への情報共有・意見交換を行い合意形成を目指しつつ、地域から吸い上げた意見を北空知広域連携検討会議の場で協議を行う。（※12月現在、広域・地方ともに1回ずつ会議を開催）
- 上記でも触れたが、北空知内の小学生・中学生・教員・保護者を対象としたアンケートを実施した。本アンケートにより、現状と課題意識、活動におけるニーズの洗い出しを行い、今後の検討の基礎となる情報収集を図った。
- スポーツ庁委託事業「地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト」に実証自治体として参加し、北空知広域モデル化に向けた実証を行っている。10月にマルチスポーツ体験会・ICTを用いた指導体験を、11月には域内の関係者を集め広域連携セミナーを実施した。
- その他、スポーツクラブ関係者を集めたシンポジウムや、道主催のフォーラム等に参加し、地域移行に関して必要な考え方や先進事例についての情報収集を行っている。共通の知識の元で議論を進めるため、得た知見は随時、地域協議会委員へ共有している。

今後の方向性

- R8年度当初時点で、平日も含めた地域移行ができるように協議を進めていく。
- 活動場所、移動方法、指導人材、受け皿となる団体、財源等、実施する上で課題となる各論について、北空知1市5町で分担して手法の検討や案の作成を行う。
- 適宜、情報発信を行い、地域内で状況を知らないという関係者が生まれまいよう特に配慮する。

部活動地域展開に係るロードマップ【沼田町 2024.12月現在】

令和6年度

令和7年度

令和8年度

令和9年度

沼田町部活動地域移行推進協議会(学校・家庭・地域)

北空知広域連携検討会議(1市5町)

実証事業

北空知広域モデル
の基盤構築

運営主体に
よる試行

運営主体による実施
(持続可能と判断できた時点で)

R8 一部地域移行

R9 地域展開・完全移行

北空知広域モデル(たたき台)

— 部活動地域移行・展開に向けて —



令和7年1月

北空知圏振興協議会教育部会
(たたき台原案作成: 深川市・沼田町)

1. 運営主体、マネジメント組織

- ①地域クラブ活動の運営主体とマネジメント
- ②関係団体との連携
- ③広域モデル(自走化)の全国的な好事例の収集

2. 財源モデル

- ①地域クラブの維持・運営に必要なコストの積算
- ②収支構造と流れ
- ③自主財源、受益者負担、公的資金との適切なバランス
- ④経済的困窮世帯への参加費用負担支援とそのスキーム
- ⑤財政的支援等に賛同する応援企業登録制度の創設
- ⑥企業版ふるさと納税の事業位置づけ(北空知で統一)

3. 指導者の確保

- ①地域指導者の量の確保と質の保障、
- ②地域クラブ活動を支える継続的な指導者依頼の仕組み
- ③地域クラブ活動の要件等の明確化
- ④外部人材(大学・企業・プロチーム等)の働きかけ
- ⑤学校教職員、自治体職員等の兼職兼業、ICT活用
- ⑥指導者の報酬、謝金、交通費の積算

4. 移動交通手段の確保

- ①交通事業者の確保(学校間バス・デマンドタクシー)
- ②ライドシェアや部活動Maasの事業性検証
- ③送迎ルート、乗車時間の設定
- ③公共交通利用に対する助成
- ④送迎収支のシミュレーション、採算性、受益者負担

5. 拠点校方式等の導入

- ①生徒のニーズや意見等が反映された地域クラブ活動の拠点
- ②地理的条件を考慮した拠点
- ③学校施設だけに依らない拠点(公共施設の有効活用)

6. 部活動サポートサービス

- ①民間事業者による地域クラブ運営委託
- ②民間事業者のシステム、アプリを活用した運用
- ③運営業務の効率化、低コスト化、アウトソーシング

北空知広域
モデル



調査中

北空知広域モデル 運営形態の類型別

1. 地域スポーツ団体等運営型

- ・スポーツ協会運営型（第1案）
- ・総合型スポーツクラブ運営型（第2案）
- ・民間事業者運営型

2. 市町村運営型

- ・地域団体・人材活用型（第3案）
市町教育委員会が地域の団体や指導者と連携して運営
- ・任意団体設立型
市町村が任意団体（一社法人や協議会等）を創設し、任意団体が運営
- ・競技団体連携型
市町村が競技団体と連携して運営

3. その他

- ・学校と関係する団体や地域学校協働本部、スポーツ・文化コミッション等が運営

2

北空知広域モデル

「持続可能な地域クラブ活動の運営体制」

民間事業者の参入

スポーツ協会

総合型地域
スポーツクラブ

全道・全国展開で
アスリート育てる
クラブ

プロチーム・実業団

運営管理

人材

施設

部活動を地域クラブ化

- ・参加者受付対応、参加費徴収
- ・保険加入（参加者・指導者）
- ・活動内容の企画から募集
- ・財源確保

- ・指導者確保
- ・指導者研修
- ・指導料（謝金・報酬等）の精算

- ・学校施設、用具の活用
- ・社会施設、用具の活用
- ・施設活用の申請や管理
- ・活動場所までの移動

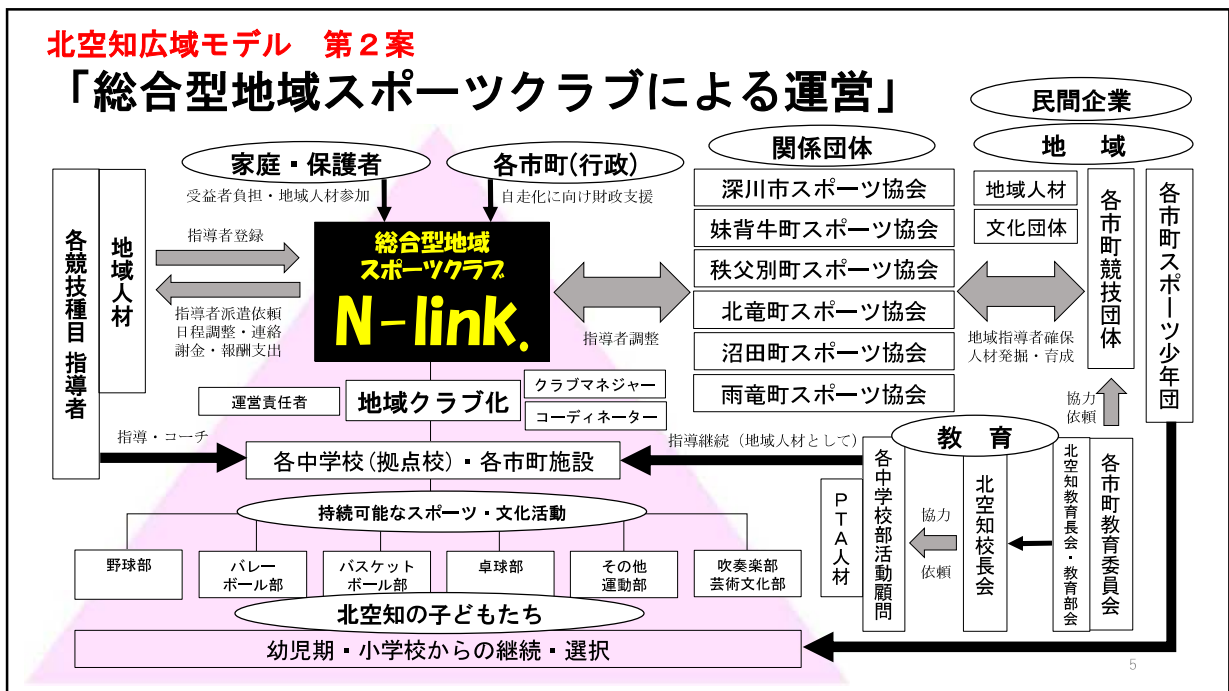
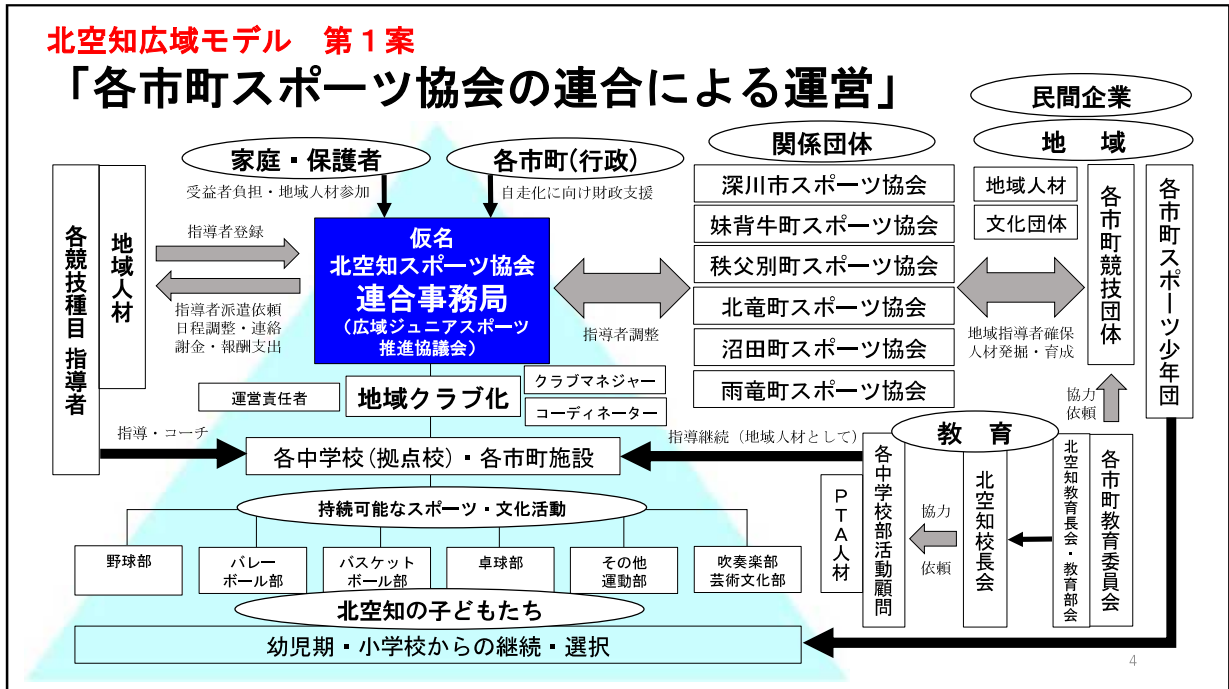


地域や民間事業者が持っているサービスを提供・連携

民間事業者のビジネス
新たな産業としての可能性

- ・行政ではなく、民間事業者がビジネスとして参入することで、子どもたちにとって継続したスポーツ・文化活動が行える環境を整備することが可能。企業協賛や応援基金、チャリティ基金などの創設で財源確保や地元企業との事業連携、人材活用・人的支援によって地域循環を目指す。
- ・行政は、受益者負担を軽減するため、企業版ふるさと納税等の充当目的を明確にし、財政支援を行う。

3



「北空知広域モデル」に向けた調査項目（例）

1. 運営主体、マネジメント組織（担当：深川市・沼田町）

- ①地域クラブ活動の運営団体（実施主体）とマネジメント
- ②関係団体との連携
- ③広域モデル（自走化）の全国的な好事例の収集と検証

2. 財源モデル（担当：秩父別町・雨竜町）

- ①地域クラブの維持・運営に必要なコストの積算
- ②収支構造と流れ
- ③自主財源、受益者負担、公的資金との適切なバランス等、費用負担の在り方
- ④経済的困窮世帯への参加費用負担支援とそのスキーム
- ⑤財政的支援等に賛同する応援企業登録制度の創設
- ⑥企業版ふるさと納税活用と対象事業の位置づけ（北空知で統一）
- ⑦各市町長部局、北空知圏との調整
- ⑧企業への働きかけ・PR

3. 地域指導者確保（担当：妹背牛町・北竜町・各市町）

- ①地域指導者の量の確保と質の保障、
- ②地域クラブ活動を支える継続的な指導者依頼（マッチング）の仕組み、人材バンク、指導者育成研修会
- ③地域クラブ活動の要件等の明確化
- ④外部人材（大学・企業・プロチーム・実業団等）の働きかけと確保
- ⑤学校教職員、自治体職員、民間企業等の兼職兼業、ICTの活用
- ⑥指導者の報酬・謝金・交通費の積算

4. 拠点校方式等の導入（担当：深川市・妹背牛町・北竜町）

- ①生徒のニーズや意見等が反映された地域クラブ活動の拠点
- ②地理的条件を考慮した拠点
- ③学校施設だけに依らない拠点（公共施設の有効活用）

5. 移動交通手段確保（担当：妹背牛町・北竜町）

- ①交通事業者の確保（学校間移動バス・デマンドタクシー等）
- ②ライドシェアや部活動Maasの事業性検証
- ③送迎ルート、乗車時間の設定
- ④公共交通利用に対する助成
- ⑤送迎事業の収支シミュレーション、採算性、受益者負担

6. 民間委託による部活動サポートサービス（担当：沼田町）

- ①地域クラブの運用システム
- ②民間事業者のサービス、アプリによる情報発信等
- ③運營業務の効率化、低コスト化

北空知広域モデルに向けた調査項目について

(妹背牛・北竜町打ち合わせ後)

3. 地域指導者確保について (妹背牛町・北竜町)

<調査項目>

- ①地域指導者の量の確保と質の保障
- ②地域クラブ活動を支える継続的な指導者依頼 (マッチング) の仕組み、人材バンク、指導者育成研修会
- ③地域クラブ活動の要件等の明確化
- ④外部人材 (大学・企業・プロチーム・実業団等) の働きかけと確保
- ⑤学校教職員、自治体職員、民間企業等の兼職兼業、ICT の活用
- ⑥指導者の報酬・謝金・交通費の積算

★現段階で調査できることなど

- ・自治体毎に人材の発掘・整理し北空知全体として集約する。
- ・自治体毎に教職員への兼職兼業希望者がいるか種目を含め改めて調査 (その際、現状の部活動において大会等へ参加するうえで必要な資格等が無いかも確認)
- ・報酬については、道の実施要綱 1,600 円/1h (上限) を基準に考える。
- ・交通費については、各市町の交通費の規定に当てはめる。
- ・自治体毎にゆる部活動に当たるような活動の受け皿団体の調査

4. 拠点校方式等の導入 (深川市・妹背牛町・北竜町)

<調査項目>

- ①生徒のニーズや意見等が反映された地域クラブ活動の拠点
- ②地理的条件を考慮した拠点
- ③学校施設だけに依らない拠点 (公共施設の有効活用)

★現段階で調査できることなど

- ・社会教育施設も利用することを考え、自治体毎に地域クラブ化した際に使えるであろう社会教育施設等の利用料金・減免の対象・施設の稼働状況等の一覧表のようなものを作成
- ・仮に拠点校方式を導入した際に、数年に一度生徒の実情に現状の拠点の場所が正しいか検討する仕組み作り

5. 移動交通手段確保（妹背牛町・北竜町）

＜調査項目＞

- ①交通事業者の確保（学校間移動バス・デマンドタクシー等）
- ②ライドシェアや部活動 Maas の事業性検証
- ③送迎ルート、乗車時間の設定
- ④公共交通利用に対する女性
- ⑤送迎事業の収支シミュレーション、採算性、受益者負担

★現段階で調査できることなど

- ・自治体毎に活動場所までの送迎ルートや委託先等の検討
（全ての町を回って送迎は現実的に時間がかかりすぎる？）
- ・各学校の部活動の始まる時間と終わる時間、活動している曜日の調査

○その他

- ・北空知モデルのルール作りは並行して行う必要あり？
（かけもちが良いのか、生徒がどの活動その日に行くかの把握の仕方、
休みやすい環境作りなど）